



マナウス日本人学校 学校だより

マナウス

2020年(令和2年)12月18日 第5号 文責:校長 柏木 廣喜

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)



2学期を無事終えることができました!



本日、47日間の2学期を無事終了することができました。この間、保護者の皆さんには、各家庭においてコロナウイルスに対する徹底した感染予防を行っていただくなど、学校を平常通り運営する上で必要不可欠なことに取り組んでいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、大過なく終業式を迎えることができました。

今学期は、毎年実施している「学習発表会」など、児童生徒の学びを発表する機会を設けることができませんでした。しかし、そのような状況の中でも「PTA文化講座(キャンプファイヤー)と長距離走大会」を実施することができたのは、皆様のご支援のおかげであると思っております。ありがとうございました。



今後も感染予防対策を徹底しながら、「できることとできないこと」を峻別して、子どもたちの実態、世の中の状況をふまえ、教育課程を編成していきたいと思っております。今後ともご支援をお願いします。

学校評価アンケート、ありがとうございました

平成19年(2007年)に学校教育法が改正となり、教育水準の向上に努める方策の一つとして、「保護者や地域住民など、学校教育に関係する方々の理解を深めるとともに、さらなる連携及び協力の推進に資するため、学校運営の状況に関する情報(評価)を集め、結果を積極的に公表することとなりました。本校でも、平成20年度より学校評価を実施し、児童生徒、保護者の皆さんからいただいた情報(評価)を分析し、教育水準の向上に努めてまいりました。今回いただいた意見等を参考にし、来年度の教育課程編成の一助としていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

卒業式の日程を変更いたします

年間計画では、全日コースの卒業式・修了式を「令和3年3月12日(金)」としておりました。これを「3月10日(水)」に変更いたします。理由は、文部科学省から「今年度末に任期を終え帰国する教員が、派遣元の都道府県に戻り4月1日より通常の勤務ができるよう出国日を設定すること」という指示があったためです。現在も「日本入国後14日の待機期間を設けること」というルールは残っておりますので、この状況に鑑み、前述の通り日程を変更いたします。ご理解をお願いします。

過去に経験のない激動の一年間(2020年)でした

思い起こせば今年の3月13日、卒業式を終え、PTA主催の送別会を開催している最中に、「マナウス市在住の女性(ロンドンに滞在歴あり)が新型コロナウイルスに感染」というニュースが飛び込んできました。それ以来、「コロナ」という単語が聞こえてこない日はありませんでした。あの当時を振り返ってみると…。

○3月17日…マナウス市長は市立小中学校の休校を指示。

○3月19日…ブラジル政府は外国人の陸路による入国を制限。

日本人を含む36ヵ国からの空路による入国を禁止。

○3月22日…Manauara Shopping、Amazonas Shoppingの閉鎖。

○3月30日…外国人の空路による入国を禁止。

○4月1日…4月30日まで州立学校の休校が決定。

立て続けに多くの経済活動に制限がかかり、本校も4月13日に予定していた入学式・始業式の挙行を断念せざるを得ない状況となりました。

結局、5月4日(月)に入学式・始業式だけは実施しましたが、その後休校期間が続き、学校を再開することができたのは10月13日でした。この間、全日コースの皆さんは一時帰国して日本国内の学校における授業、文化コースの皆さんはオンライン授業と、本来本校で行うべき教育活動とは乖離した状況において、学びを展開することとなりました。

当時は、「普段通りの授業が再開できるのはいつなのか」と不安になったときもありましたが、マナウス日本文化振興会、在マナウス日本国総領事館、文部科学省をはじめ関係各位のご尽力を賜り、こうして本日2学期の終業式を迎えることができたこと、児童生徒や保護者の皆さんとともに喜びたいと思います。

明日より20日間の冬季休業となります。今までとは違った冬季休業となるかと思いますが、各家庭において、児童生徒の学習及び生活について、引き続きご指導をよろしく願いいたします。

いつの日か、「コロナって何のこと」という質問に対して、「太陽の外側にあるガス層のことでしょう」という回答が普通になる日が来ると確信しています。